

知事とのふれあい対話（鹿児島地域（日置市・いちき串木野市））における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
誘客のための取組	<p>県外客や海外客の日置での滞在時間を増やすために、日置に散らばった素晴らしい場所をつなげるパターンをいくつかつくりたいかなと考えている。</p> <p>コストもかかかと思うが、いろんな組織、団体が一体となって活動するような体制ができれば、観光客やそれ以外の方も日置市に来れるような環境整備が整えられたらと考えている。</p>	<p>県では、SNS等を活用して、豊かな自然や食、個性ある歴史・文化など、本県が有する多彩な「宝物」の魅力を効果的に届けるデジタルプロモーションに取り組んでいます。</p> <p>時期や年代を分けて、ターゲットそれぞれの興味・関心に応じた情報を発信しています。</p> <p>海外からの誘客については、県の公式SNSでの情報発信や、海外で利用の多い旅行予約サイトと連携した誘客プロモーションなどに取り組んでいます。</p> <p>また、欧米豪市場をターゲットに、外国人インフルエンサーを活用したSNSによる情報発信を行っています。</p> <p>さらに、県では、市町村と連携し、魅力的な地域の観光資源を生かして、景観整備や観光地域づくり、広域観光ルートの拠点整備などを行う、魅力ある観光地づくり事業を推進しているところがあります。</p> <p>当該事業や地域振興推進事業など、県、市が支援できる制度もあるので、今後、具体的な取組を進めるに当たっては、日置市や県にご相談ください。</p> <p>また、県内には大隅や奄美大島をはじめとする地域においては、5つの地域DMO（観光地域づくり法人）が存在します。県では、これらの地域DMOや観光協会等を対象とした観光マーケティングデータの分析講座等を開催するなど、人材育成に取り組んでいるところです。現在、日置市を中心に活動する地域DMOは存在しませんが、今後、具体的な団体の立ち上げについてのご相談があった際には、県と市と連携を図りながら支援を行ってまいります。</p> <p>日置市には、個性豊かな焼酎の蔵元や海外でも人気のウイスキー蒸留所、江口蓬萊館、薩摩焼の里山、湯の元、吹上、伊集院、日吉温泉、徳重神社など戦国島津ゆかりの地等々魅力的な観光素材がたくさん揃っています。</p> <p>こういった豊かな自然、歴史・文化、食を生かして、地元企業や住民と協力しながら、新たな体験型観光プログラムの造成や、観光資源の磨き上げにも取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>具体的に取組を進められる場合には、日置市や地域振興局にもご相談ください。</p> <p>なお、国においては、地域資源を活用した観光プロモーションに係る経費に対する補助を行っており、活用を希望される場合は、県にご相談ください。</p>	PR観光課
10年後の鹿児島県	<p>10年後の鹿児島県はどのような地域になっていると思うか。</p>	<p>県としては、これまで、誰もが安心して暮らし、活躍できる鹿児島の実現に向け、本県の基幹産業である農林水産業、観光関連産業など鹿児島県の「稼ぐ力」の向上や、地域や各種産業を支える人材育成、結婚・妊娠・出産・子育てしやすい環境の整備、高齢者が健やかに生きがいをもてる社会の形成など、各般の施策に取り組んできているところです。</p> <p>特に観光において、本県は、雄大な桜島や、世界自然遺産の屋久島、奄美大島・徳之島など、多様で豊かな自然、和牛日本一の鹿児島黒牛、かごしま黒豚などの多彩で豊富な食材、薩摩焼や薩摩切子などの伝統的工芸品、個性豊かな歴史・文化など、多くの宝物を有していることから、これらの多くの宝物を有する鹿児島県全体を一つのテーマパークと捉えて、各種観光振興施策を展開していきたいと考えています。</p>	PR観光課
県の発信について	<p>鹿児島にはおいしいものがたくさんあるが、もっと発信していくために県としてできることはあるか。</p>	<p>県では、農林水産物をはじめとする県産品等の販売促進や本県のイメージアップを図るため、国内外へ向けたトップセールスを実施しています。</p> <p>昨年度は、米国や香港における現地の飲食・小売・観光の関係者やメディアを対象としたレセプションや、首都圏における鹿児島島ゆかりの方々を招いた鹿児島島の夕べにおいて、本県の県産品の魅力をPRしたところです。</p> <p>県産品に関する消費者ニーズの把握や認知度向上、販路拡大を図るため、首都圏の百貨店における物産展や、ホテル・レストラン・高級果実店等でのフェア等を開催しています。</p> <p>「かごしま遊楽館」では、本県を代表する特産品を中心に、県内各地の魅力ある県産品をPRしています。</p> <p>本県出身の一流シェフを鹿児島島食の匠に委嘱し、レストランフェアの実施やメニューの監修などを通じて、本県の多彩な食を全国に情報発信しています。</p> <p>その他、かごしまの食ウェブサイトにSNSによる産地・イベントの情報発信や、クックパッドにおける「かごしまブランド産品」を使用した料理レシピの紹介、県政広報番組等を活用した情報発信にも取り組んでいます。</p> <p>今後も、これらの取組を通じて、本県の「食」を情報発信することで、県産品の認知度向上や販路拡大につなげていくこととしています。</p>	PR観光課
インスタグラマーを活用したPR	<p>鹿児島でも鹿児島県の情報発信しているインフルエンサーが増えていて、インフルエンサーを活用したPRをもっと増やしてほしい。</p>	<p>県では、国内外に向けて、本県の更なるイメージアップを図り、交流人口の拡大に繋がるようなPRの手法を示した、鹿児島PR基本戦略を定めています。その中でPRの実践における多様な主体との連携を位置づけており、インフルエンサーの活用についても、その重要性は認識しているところです。</p> <p>これまで、有名なインフルエンサーの方々にも協力いただき、観光誘客のためのプロモーション活動や、大島紬の需要開拓・販売促進等に取り組んできたところです。</p> <p>ご指摘のとおり、鹿児島県の情報発信するインフルエンサーが増えてきており、そういった発信力やネットワークを有する方々と連携しながら、鹿児島県の豊かな自然や食、歴史・文化、特産品など、「南の宝箱 鹿児島」の多彩な魅力を国内外に広くPRしてまいります。</p>	PR観光課

知事とのふれあい対話（鹿児島地域（日置市・いちき串木野市））における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
トレイルランニングコース整備について	<p>地元の冠岳を利用したトレイルランニング大会の開催の話があり、コース整備を行い、大会終了後もコースの維持管理を行っている。</p> <p>今後も長く大会が続き、全国から参加者が来てくれることを願い、できる限り整備を続けていこうと思っている。</p> <p>自分のようなトレイルランニングのプレーヤーと自治体がうまく連携できる関係性が構築されると、持続可能な交流人口拡大につながるのではと考えるが、このような施策に対する支援をいただきたい。</p>	<p>冠岳のトレイルランコースは、いちき串木野市が主体となって、地域振興推進事業を活用し、令和3年度から3か年かけて整備されました。</p> <p>いちき串木野市においては、この登山コースを活用したトレイルランニング大会の開催やその他交流イベントの開催など、地域住民主体の魅力的な観光地づくりや、交流人口の拡大に積極的に取り組まれています。</p> <p>観光地の維持管理に関しては、一義的には所有者、管理者が行うべきものであり、経費負担のあり方については、管理者やイベントの主催者、地域で十分に協議して決めていく必要があります。</p> <p>例えば、イベントの参加者に一定の負担をいただくという方法も考えられます。</p> <p>持続可能なイベントにしていくため、まずはいちき串木野市にご相談ください。</p> <p>日本三大砂丘の一つである吹上浜には、江口海浜公園をはじめ、江口蓬莱館、ウイスキー蒸留所などがあり、日置市の自然や食を満喫できる観光拠点として期待されているスポットです。</p> <p>魅力ある観光地づくり事業では、観光拠点として地域の方々積極的に整備や管理運営に関与する施設について、施設周辺の園地や駐車場の整備等による支援をしています。</p> <p>また、県では、県観光サイト「かごしまの旅」やインスタグラム「南の宝箱 鹿児島」等の県公式SNSにおいて、県内各地の観光スポットやイベント等に関する情報発信を行っています。</p> <p>今年度から、市町村においても随時、県観光サイトの情報が更新できるようにしているため、市または県にご相談いただき、積極的に活用して発信していただきたいです。</p>	PR観光課
吹上浜を生かした観光地づくり	<p>「鹿児島県観光振興基本方針」において、吹上浜は県としても重要な観光資源と位置づけられていると思うが、その魅力を生かした観光地づくりの推進方針や取組について教えてほしい。</p> <p>また、今後、このエリアで民間や地域プレーヤーが主体となって常設型の体験拠点を作っていく場合、県としてどのような支援や関与が可能か教えてほしい。</p>	<p>県では、市町村や地元事業者等と連携し、魅力的な地域の観光資源を生かして、景観整備や観光地づくり、広域観光ルートの拠点整備などを行う、魅力ある観光地づくり事業を推進しているところだ。</p> <p>日本三大砂丘の一つである吹上浜には、江口海浜公園をはじめ、江口蓬莱館、ウイスキー蒸留所などがあり、日置市の自然や食を満喫できる観光拠点として期待されているスポットです。</p> <p>魅力ある観光地づくり事業では、観光拠点として地域の方々積極的に整備や管理運営に関与する施設について、施設周辺の園地や駐車場の整備等による支援をしています。</p> <p>さらに、県観光サイトやSNSなどを活用して、整備された体験拠点などの情報発信にも協力してまいります。</p>	PR観光課
県外観光客やインバウンドの獲得	<p>県外観光客やインバウンド獲得のために県が取り組もうとしていることや、今後のビジョンについてお聞きしたい。</p>	<p>県では、コロナ禍後の経済回復を軌道に乗せ、観光の「稼ぐ力」の向上を図るため、令和7年度からの5年間を推進期間として、「多彩な宝物が輝くテーマパーク『南の宝箱 鹿児島』観光の『稼ぐ力』の向上」を基本目標として掲げた、第4期鹿児島県観光振興基本方針を策定しました。</p> <p>基本方針では、令和11年度に達成すべき数値目標として、経済波及効果、観光消費額、延べ宿泊者数、外国人延べ宿泊者数、クルーズ船乗客数、再訪希望を設定しています。</p> <p>これらの数値目標を達成し、基本目標の実現につなげるための4本柱として、「魅力ある癒しの観光地の形成」、「戦略的な誘客の展開」、「県民総ぐるみでのおもてなしの推進」、「国内外におけるプロモーションの展開」を位置づけ、情報発信やマーケティングに基づく効果的な誘客などの各種施策に取り組んでいます。</p> <p>今年度、国内誘客については、データ等に基づいてターゲットを設定し、SNS等を活用して、本県が有する多彩な「宝物」の魅力効果を効果的に発信するため、国内大手旅行サイトと連携したデジタルプロモーションに取り組んでいます。</p> <p>海外誘客においては、直行便4市場とともに、中長期的な視点で、今後の有望な市場である東南アジアや欧米豪の戦略的市場の対策に取り組んでいます。</p> <p>各国・地域の特徴に合わせて、公式SNSや各種WEBサイト、現地旅行会社やメディアを活用した情報発信等に加え、海外で利用者の多い予約サイトと連携したプロモーション、欧米豪市場をターゲットに外国人インフルエンサーを活用したSNSによる情報発信を実施します。</p> <p>寄港回数が増えるクルーズ船による経済効果を県内各地に波及させるため、地域の観光地等のツアーの実施に協力的な船などの誘致を重点的に行ってまいります。</p> <p>また、市町村と連携し、魅力的な地域の観光資源を生かして、景観整備や観光地づくり、広域観光ルートの拠点整備などを行う、魅力ある観光地づくり事業を推進しています。</p> <p>今後も市町村や観光関連事業者などと連携して、国内外から本県を訪れる観光客を増やすとともに、魅力ある癒しの観光地形成に取り組み、観光消費額の増加を図ってまいります。</p>	PR観光課
広域観光推進体制の構築	<p>いちき串木野市は豊かな観光資源を持つ地域だが、魅力を十分に生かすには、広域的な観光の強化が不可欠である。</p> <p>関係団体が中心となり、ホテルや旅館、飲食店、交通事業者、観光施設、地域住民が一体となり、定期的な情報共有を定期的に行い、観光商品の共同開発を行う場を設けることに対する支援と、商品開発、プロモーションなどに対する支援制度の創設をお願いします。</p>	<p>観光客の滞在時間を延ばし、観光消費額の増加を図るために、広域観光の充実が重要です。</p> <p>県としては、県観光サイトにおいて、県内市町村にある観光資源を活用した広域観光モデルコースの紹介を行っています。</p> <p>一方で、広域観光に当たっては、二次交通対策が課題と考えています。</p> <p>県としては、バス運転手の確保に取り組むとともに、九州各県や事業者と連携して観光客等の移動円滑化などを図る九州MaaSの推進などに取り組むこととしています。</p> <p>今後とも、地域資源を活用しながら、周遊性を高める取組を市町村等と一体となって進めてまいります。</p> <p>観光客の受入体制の充実・強化に向けては、宿泊業や旅行業をはじめ、農業、商工業といった地域の多様な主体が連携して観光地づくりに取り組むことが必要です。</p> <p>県内の複数の地域においては、観光地づくり法人（DMO）が組織されており、地域の関係者間で合意形成を図りながら、地域資源を生かした観光地づくりに取り組んでいる例もあります。</p> <p>県としては、各事業者の連携強化に取り組もうとする地域DMO等に対し、助言を行うなど、支援を行うこととしています。</p>	PR観光課

知事とのふれあい対話（鹿児島地域（日置市・いちき串木野市））における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>県・市の観光ポータルサイトの連携強化</p>	<p>県・市の観光ポータルサイトの連携を強化・多言語化し、各事業者の情報やシステムと連携させることで、外国人観光客の利便性が向上すると考える。また、SNSを活用した情報発信を強化し、各地域の魅力を世界に発信する必要がある。 特に、飲食店における多言語メニューの導入やキャッシュレス決済の普及を県として支援し、観光客が安心して楽しめる環境を整備していただきたい。</p>	<p>県では、コロナ禍後の経済回復を軌道に乗せ、観光の「稼ぐ力」の向上を図るため、令和7年度からの5年間を推進期間として、「多彩な宝物が輝くテーマパーク『南の宝箱 鹿児島』観光の『稼ぐ力』の向上」を基本目標として掲げた、第4期鹿児島県観光振興基本方針を策定しました。 基本方針では、令和11年度に達成すべき数値目標として、経済波及効果、観光消費額、延べ宿泊者数、外国人延べ宿泊者数、クルーズ船乗客数、再訪希望を設定しています。 これらの数値目標を達成し、基本目標の実現につなげるための4本柱として、「魅力ある癒しの観光地の形成」、「戦略的な誘客の展開」、「県民総ぐるみでのおもてなしの推進」、「国内外におけるプロモーションの展開」を位置づけ、情報発信やマーケティングに基づく効果的な誘客などの各種施策に取り組んでいます。 今年度、国内誘客については、データ等に基づいてターゲットを設定し、SNS等を活用して、本県が有する多彩な「宝物」の魅力を効果的に発信するため、国内大手旅行サイトと連携したデジタルプロモーションに取り組んでいます。 海外誘客においては、直行便4市場とともに、中長期的な視点で、今後の有望な市場である東南アジアや欧米豪の戦略的市場の対策に取り組んでいます。 各国・地域の特徴に合わせて、公式SNSや各種WEBサイト、現地旅行会社やメディアを活用した情報発信等に加え、海外で利用者の多い予約サイトと連携したプロモーション、欧米豪市場をターゲットに外国人インフルエンサーを活用したSNSによる情報発信を実施します。 県では、本県を訪れる外国人観光客が安心・安全で快適に過ごせるよう、受入体制の整備に取り組んでいるところです。具体的には、多言語コールセンター設置による、365日、24時間、22言語による無料電話通訳サービスの提供のほか、外国人観光客の受入に係る各種講習会の開催など、本県滞在中の利便性向上に努めているところです。 キャッシュレス決済については、国から補助事業の案内があった際は、市町村に適宜情報提供するとともに、県観光連盟主催のインバウンド受入に関する講習会などの機会を活用して、周知を図っていきたく考えています。 今後も、地元市町村や関係団体と一体となって、多言語対応など外国人観光客の受入体制づくりに取り組んでまいります。</p>	<p>PR観光課</p>
<p>通訳やボランティアとのマッチング</p>	<p>焼酎ツーリズムとして、近い将来海外のお客さまをターゲットにしたツアーに発展していきたいと考えており、特に学生に活躍いただきたいと考えているが、通訳やボランティアなどマッチングの機会はないか。また、他に活用できる支援策はないか。</p>	<p>県国際交流協会においては、外国の方に対する国際交流イベント等での通訳や観光地への同行などに対応可能な通訳ボランティアを登録しています。 通訳ボランティアは、日本語が堪能で、かつ日本語以外の言語で日常生活に必要な語学力以上の能力を有する満16歳以上の方が登録可能となっています。 紹介ご希望の場合は、所定の様式で申し込んでいただき、協会の審査を経てマッチングされるので、協会のHP等を確認の上、積極的に活用いただければと思います。 また、県観光サイトでは、対応言語ごとに県内の通訳ガイド43名を紹介しており、直接ガイドと交渉することが可能です。詳しくは、県観光連盟にご相談ください。</p>	<p>PR観光課</p>
<p>関係各所との連携</p>	<p>ホテルや交通機関などはあまり連携がとれていないため、関係各所をつなげていくための助言等をお願いしたい。</p>	<p>観光地としての付加価値を高め、観光消費額を増加させるためには、関係事業者が連携して地域を周遊させる仕組みを構築し、旅行者の滞在時間を延ばすことが重要です。 例えば、地域DMOの㈱おおすみ観光未来会議においては、観光客誘致と周遊促進を図ることを目的に、地域の特産品である鰯を活用し、飲食店や観光施設、道の駅、JA等と連携した「大隅うなぎ街道」スタンプラリーを実施しているところです。 いちき串木野市は、6社8蔵の個性的な焼酎蔵があり、「本格焼酎で乾杯を推進する条例」が制定されるなど、県内でも有数の「焼酎のまち」です。 また、マクロ、つけあげなどの海の幸と、温暖な気候が育んだ柑橘類などの山の幸が豊富な、「食のまち」としても知られています。 このほか、ミュージアムカフェ「舟」が併設する市来大迫家住宅などもあり、食、歴史・文化、温泉、自然を堪能できる魅力的な観光スポットです。 インバウンドにも魅力的な、こうした観光素材を生かすためにも、まずは、受入れ地域全体で取り組む気運の醸成が必要です。 今後、具体的に取組を進めるにあたっては、いちき串木野市や県にご相談ください。</p>	<p>PR観光課</p>
<p>洋上風力発電</p>	<p>再生可能エネルギーの必要性は理解するが、地元の人と暮らしを守ることを最優先に考えており、洋上風力発電建設による環境や生活への影響について、大変大きな不安を抱えている。 反対運動の声もあるなかで、様々な意見をどのように受け止め、どのような方針でいるのか。</p>	<p>洋上風力発電の導入について、健康被害や、景観への影響等を懸念する声があることは承知しており、漁業者団体からも漁業への影響について懸念する声をお聞きしています。 県では、令和5年8月に関係市町、関係漁業者団体などの利害関係者等からなる洋上風力発電に関する研究会を設置しており、国や専門家から漁業影響や先行地域の取組などの説明を受けるとともに、関係市町からは、各地域の実情を踏まえた意見を述べていただいています。 また、いちき串木野市においても、市のまちづくり協議会等の方が参加する市主催の「洋上風力発電調査研究協議会」の場や、地区毎の住民説明会の場などで地域の方々の意見交換が行われています。 県が情報提供した「いちき串木野市沖」については、今年10月、国における審議の結果「準備区域」に整理されました。今の研究会では、環境や生活、漁業への影響などを専門的に検討するのは難しい面があり、今後、利害関係者等との調整が進み、同市沖が「有望区域」に整理されれば、それらの影響などについて、法定協議会等の中で、国や有識者などの知見や技術を活用しながら検討を行うこととしていきます。 なお、これら法定協議会等で得られた知見については、広く地域住民に周知してまいります。 また、環境や生活への影響については、公募で選定された事業者が環境影響評価法に基づき、事業者自らが調査・予測・評価を行い、その結果を公表して、地域住民や自治体などの意見を聴くことになっています。</p>	<p>エネルギー対策課</p>

知事とのふれあい対話（鹿児島地域（日置市・いちき串木野市））における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
洋上風力発電	<p>台風や地震などのリスクに対する安全対策や、長期的な維持管理の体制のほか、東北の事例のように事業者が撤退した場合に、撤去費用や地域の雇用など、考えられる懸念点について、県としてどのように対応するか。</p>	<p>洋上風力発電設備の設置に当たっては、再エネ海域利用法や電気事業法などに基づく耐風や耐震性等の技術基準を満たす必要があり、その維持管理においては、定期及び臨時の点検を行い、その結果に応じて必要な措置を講ずることとされています。</p> <p>国においては、今回の事業者撤退について、その要因を検証し、年内（令和7年）を目処に、公募制度の見直しを含む更なる事業環境整備について、一定の整理を付けるとしています。</p> <p>また、事業者が撤退した地域では、国・県・地元自治体等が連携して、事業者が進めていた地域振興に関する取組のフォローや、設備投資を進める中小企業の影響把握などの対応が取られています。</p> <p>今後、このような事態を招くことがないよう、まずは国において、事業者が確実に事業を実施できる環境の整備を行っていただきたいと考えています。</p>	エネルギー対策課
海洋のごみ問題	<p>海洋ごみの量が年々増大し、2050年には海では魚よりゴミの量が多くなると言われている。このままでは、マイクロプラスチックによる人体や海洋生物への影響、船舶の航海に支障をきたすなど、様々な問題が生じる。</p> <p>全世界的な問題でもあるが、町からのゴミの流出防止や海岸漂着ごみの回収について、県の考えをお聞きしたい。</p>	<p>全国第3位の海岸線を有する本県では、離島を中心に海洋ごみが多くみられます。マイクロプラスチック等の海洋ごみは、海洋環境に深刻な影響を及ぼすおそれがあることから、国際的に関心が高まり、その削減は地球規模の課題となっています。</p> <p>街中から河川等を通じて海に流出するごみ対策として、県では、河川の草刈りやごみ拾い活動を行う団体を「みんなの水辺サポーター」に認定し、活動経費の助成等を行っています。</p> <p>また、毎年10月をマイバッグキャンペーン強化月間とし、県民、事業者、行政が一体となったレジ袋削減に取り組んでいます。</p> <p>さらに、海洋ごみを減らすためには県民一人ひとりの積極的な取組が重要であることから、11月8日に海洋プラスチックごみ問題について考えるイベントをアミュ広場で開催するなどの啓発活動を行っています。</p> <p>海岸に漂着したごみの回収・処理については、県や市町村では国の補助事業を活用して積極的に取り組んでおり、国の調査によると、令和5年度実績では、清掃回数は全国1位、清掃延べ距離は全国3位となっています。</p> <p>本県ではボランティアや住民による海岸清掃も活発に行われており、民間団体による回収量は全国1位となっています。</p> <p>県では、こうした民間団体の取組をホームページで紹介するとともに、6月から8月を「かごしまクリーンアップキャンペーン」と位置づけ、参加を呼びかけるなどの支援を行っています。</p> <p>今後とも、関係者等と連携を図りながら、海洋ごみの発生抑制に係る普及啓発や海岸漂着物の回収等に取り組んでまいります。</p>	廃棄物・リサイクル対策課
海岸浸食	<p>鹿児島県吹上浜は日本三大砂丘の1つだが、現状では毎年砂浜が減少している。</p> <p>海岸侵食の原因は、川から砂の供給が少なくなっていることである。</p> <p>ダムや堰を作ることで、川砂がせき止められ、海への砂の供給が減少し、海岸の砂浜が少なくなっていく。</p> <p>日本三大砂丘である吹上浜を守っていくための具体的な対策を伺いたい。</p>	<p>海岸浸食については、沿岸の砂丘等において、砂の供給と流出とのバランスが崩れることによって生じるものです。</p> <p>その主な要因としては、沿岸構造物による沿岸漂砂の連続性の阻止、台風などの高波による砂の流出、河川等からの供給土砂の減少などがあり、さらに、これらの原因が複数重なって生じることがあるとされています。</p> <p>吹上浜沿岸については、中長期的な変化状況を把握するため、平成14年度以降、航空写真撮影や深淺測量などの調査を継続して実施しており、これまでの結果からは、部分的な浸食や堆積の傾向が認められますが、海岸線全般には大きな変化は見られない状況です。</p> <p>今後とも、航空写真撮影や深淺測量などの序さを継続し、海岸の変化状況の把握に努めるとともに、部分的な浸食等に対しては、河川等に堆積した土砂を養浜に活用するなど、必要な保全措置を講じてまいります。</p>	河川課 漁港漁場課